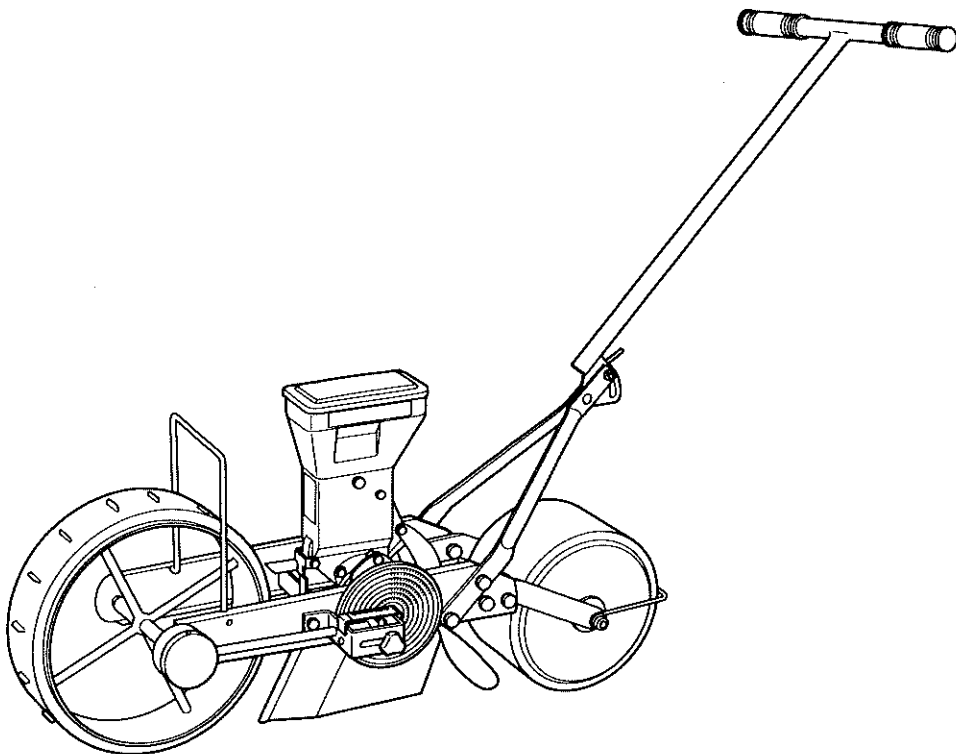


みのる 野菜播種機

ダブルシャッター式 PY-121型

取扱説明書



みのる 産業株式会社

東京・岡山・九州

目 次

仕 様	1
特 長	1
各部の名称	2
組 立	2
注油個所	3
調 節	
播種間隔調節	3
播種量調節	4
仕切板の調節	5
残留種子の取出し	5
播種深さ・覆土量の調節	5
点条播切換調節	5
土附着防止用クッション	7
注 意	8
別売アタッチメント	8

はじめに

この度は**みのる**野菜播種機をお買上げ賜り、厚くお礼申し上げます。
本機は当社が多年にわたる経験と技術を結集して完成いたしましたもので必ず皆様のご期待にそい得るものと自負いたしております。
尚、ご使用前には必ず本取扱説明書を熟読せられ本機の特長、性能が充分発揮できるよう効果的にご使用くださるようお願い申し上げます。

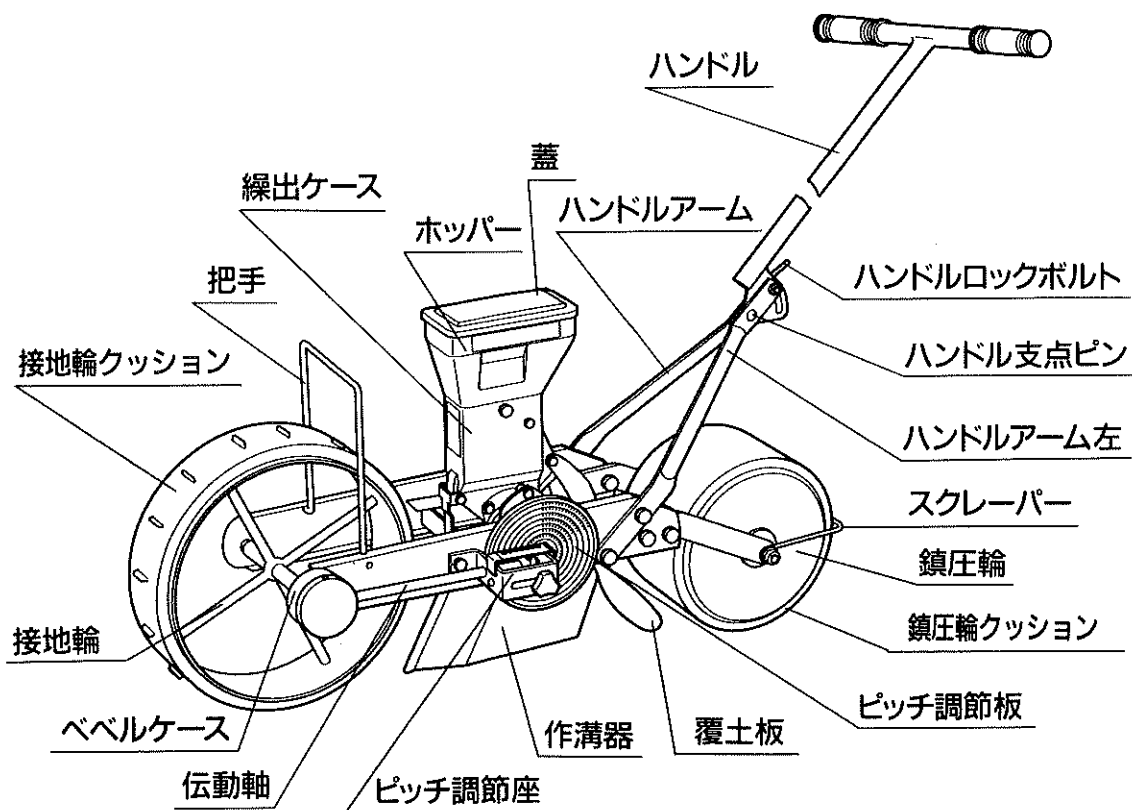
仕様

名 称	みのる 野菜播種機	
型 式	PY-121型	
条 数	1条	
ホッパー容量	1リットル	
播 種 様 式	点播、条播切換式	
	点播間隔	15、18、21、24、27、30 (分配バネのフック時)
30、36、42、48、54、60 (分配バネのフックを外した時)		
種子繰出方式	無段調量式回転ロール繰出 6穴	
重 量	8.2kg	
寸 法	本 体	長さ×幅×高さ 82×27×40cm
	ハンドル	長さ 100cm

特 長

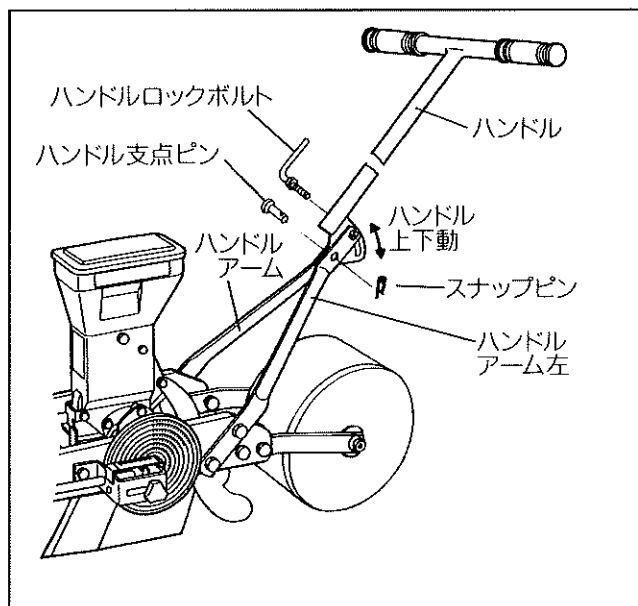
1. 1工程で作溝・播種・覆土・鎮圧が出来ます。
2. 繰出ロールが調節式のため、播種量の調節は繰出ロールの交換なしで行えます。
3. 播種間隔の調節はつまみでワンタッチで行えます。
4. 点播、条播の切換はピン1本を差し換えるだけで行えます。
5. ダブルシャッター(2枚シャッター)交互開閉方式ですので点播状態がきれいです。

各部の名称



組立

- ① ハンドルアームからハンドル支点ピン及びハンドルロックボルトを外してください。
- ② ハンドルをハンドルアームの間に入れ、まずハンドル支点ピンで止め、次に、ハンドルロックボルトでハンドルを適当な角度にして、締付けてください。

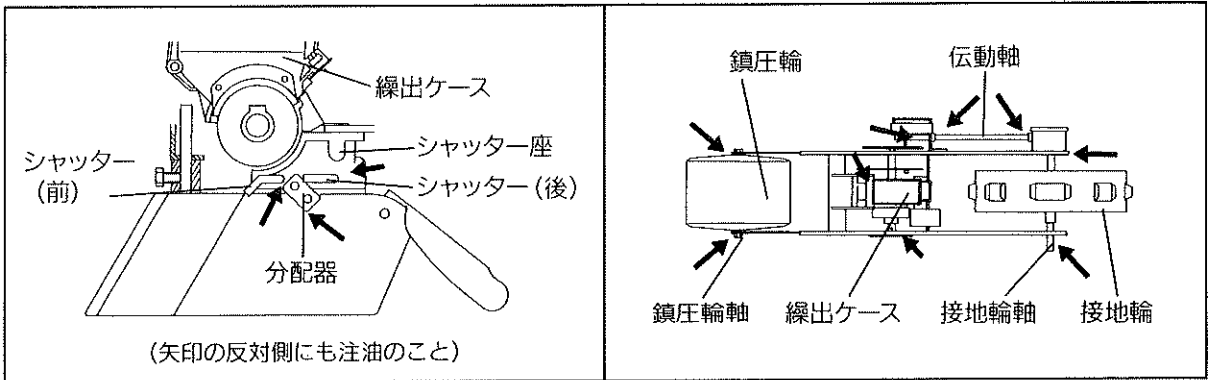


注油箇所

本機は、出荷時には、注油していませんから、使用する前に、各回転摺動部に注油してください。

特に繰出部は、1日1回必ず注油してお使いください。点播ムラの防止になります。

下図の矢印のところが注油箇所です。



繰出部を横から見たときの注油箇所

本機を上から見たときの注油箇所

注油の際、繰出部は大量に注油しますと種子が付着することがありますので注意してください。

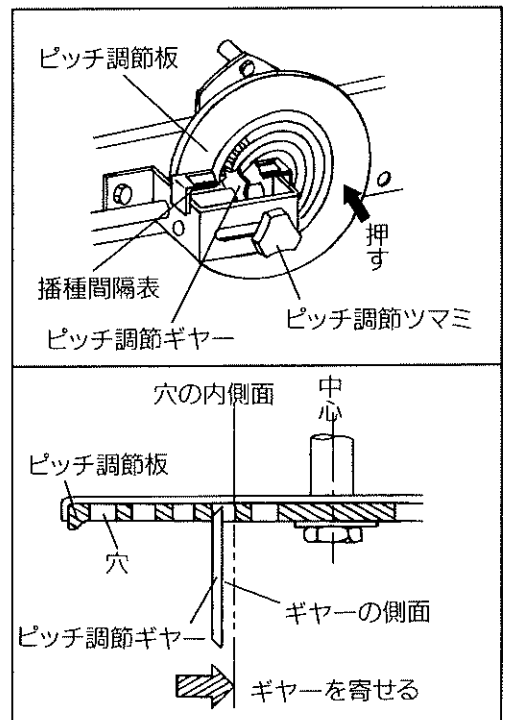
調節

○ 播種間隔調節

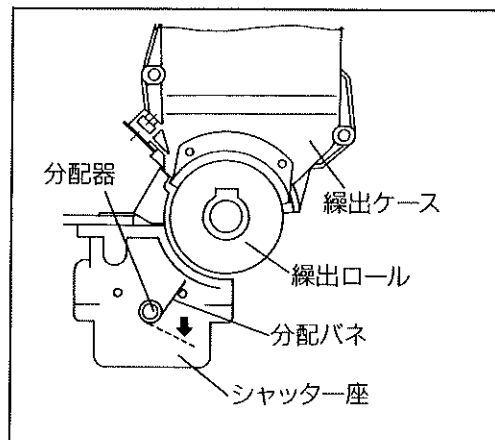
- ① ピッチ調節板を前方へ押しつけてピッチ調節ギヤーとのかみ合いを離してください。
- ② ピッチ調節ツマミを緩め、移動して使用したいピッチ調節板の穴位置にピッチ調節ギヤーを合せます。
- ③ ピッチ調節ギヤーの側面がピッチ調節板の穴の内側面と軽く接する位置でピッチ調節ツマミを締付けてください。

【注】

- 1) 機械に貼付けてある播種間隔表は、繰出ロールの孔数が6孔のときの株間です。
- 2) ピッチ調節ギヤーを播種間隔表の条播位置にセットしたときは、シャッターを作動させないようにセットしてください。(5～6頁参照)



- ④ 30cm以上の播種間隔で使用する時は、分配器の分配バネを引掛け部から外して分配器を作動させないようにしてください。
播種間隔表の2倍の株間となります。

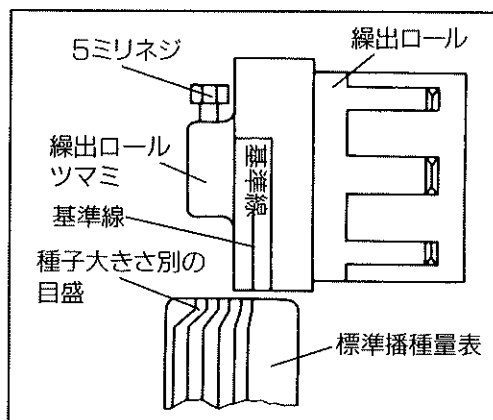
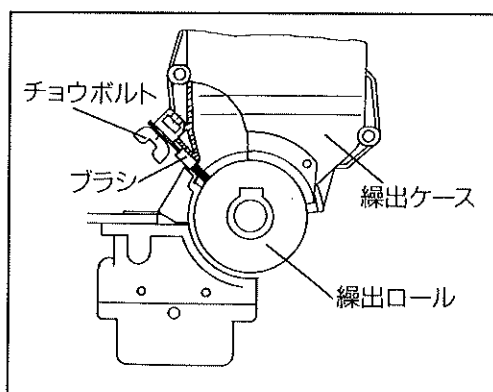


【注】

- 1) 土壌により点播間隔が延びる場合がありますので播種前に作溝器と鎮圧輪を地面より浮かせた状態で、本機を押して種子を落下させ、点播間隔を確認してください。

○ 播種量調節

- ① ブラシと繰出ロールが軽く接触した状態が標準落下量です。
ブラシを繰出ロールに押しつけたり、離したりすると種子落下量の増減はできますがバラツキが多くなります。
- ② 繰出ロールツマミの5ミリネジを緩めて繰出ロールツマミを指先で軽くつまみスライドしてください。
- ③ 繰出ロールの基準線と標準播種量表の種子大きさ別の目盛を合わせてください。
- ④ 繰出ロールツマミの5ミリネジを締付けて繰出ロールを固定してください。

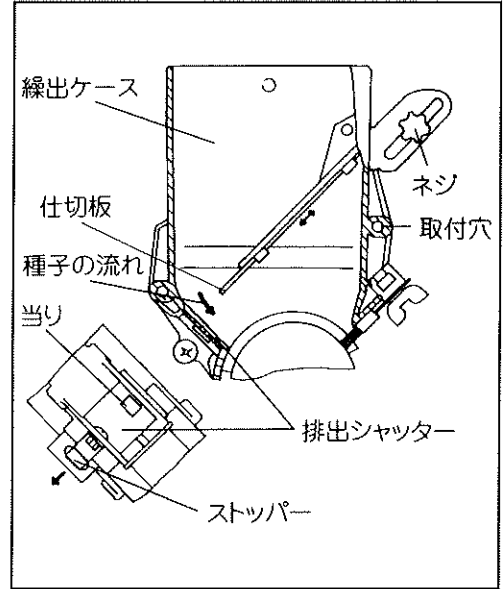


【注】

- 1) 条播～30cmの播種間隔で播種をするときは標準播種量表の種子別の目盛と基準線を参考にしてください。
播種量が希望に合わないときは、適宜加減してください。
- 2) 30cm～60cmの播種間隔で播種するときは標準播種量表の種子別の目盛位置では繰出量が多くなり過ぎますので希望に合わせて適宜調節してください。
30cm～60cmの播種間隔で播種するとき、繰出ロールが最小穴でもなお繰出量が多いときは、ブラシを繰出ロールに押しつけると繰出量が少なくなります。しかし、あまり押しすぎるとブラシと繰出ロールの摩耗を早めます。それでも繰出量が多いときは繰出ロール穴を一穴とびにテープ等で貼り穴を埋めてください。

○ 仕切板の調節

- ① 仕切板は中間位置にしています。
- ② この状態で作業を行った時に種子がスムーズに流れ、種子溜りの上面が繰出ケースのフレームへの取付穴より下にあることを確認してください。
- ③ 種子により流れが違うので必要に応じて仕切板を上、下して種子がフレームの取付穴の下にくるように位置を決めてください。



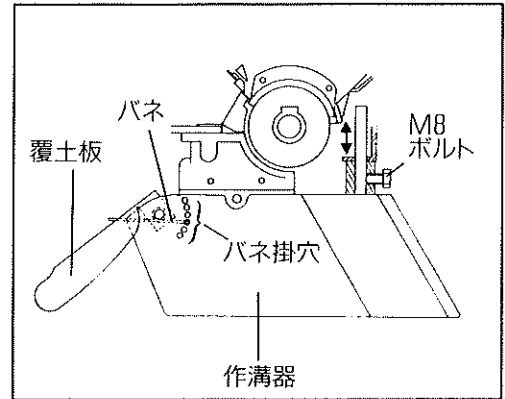
○ 残留種子の取出し

- ① 排出シャッターを矢印の方向に引出し排出シャッターの当りがストッパー位置にくるまでゆっくり引っぱり種子を取出してください。

【注】 排出シャッターは次の作業の為、確実に元に戻しておいてください。

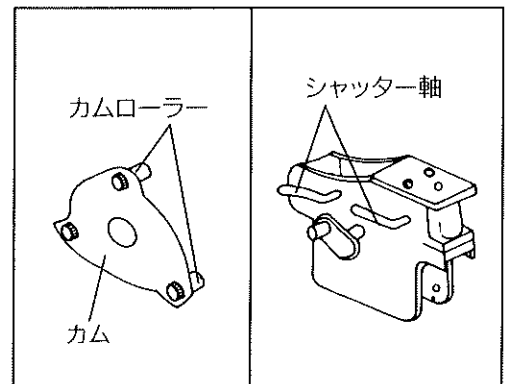
○ 播種深さ・覆土量の調節

- ① M8ボルトを緩め希望の播種深さとなるよう作溝器を上下方向に調節し、M8ボルトを締付けてください。
- ② 覆土量を調節する時は、作溝器に6コのバネ掛穴がありますので、覆土状態により適宜バネを差し換えてください。
バネを上のに掛けるほど覆土量は多くなります。



○ 点条播切換調節

点播とは、接地輪(本機前側の車輪)をまわすと、カムローラーとシャッター軸が係合し、シャッター軸が作動している状態です。
条播とは接地輪をまわしても、カムローラーとシャッター軸が係合しない状態です。

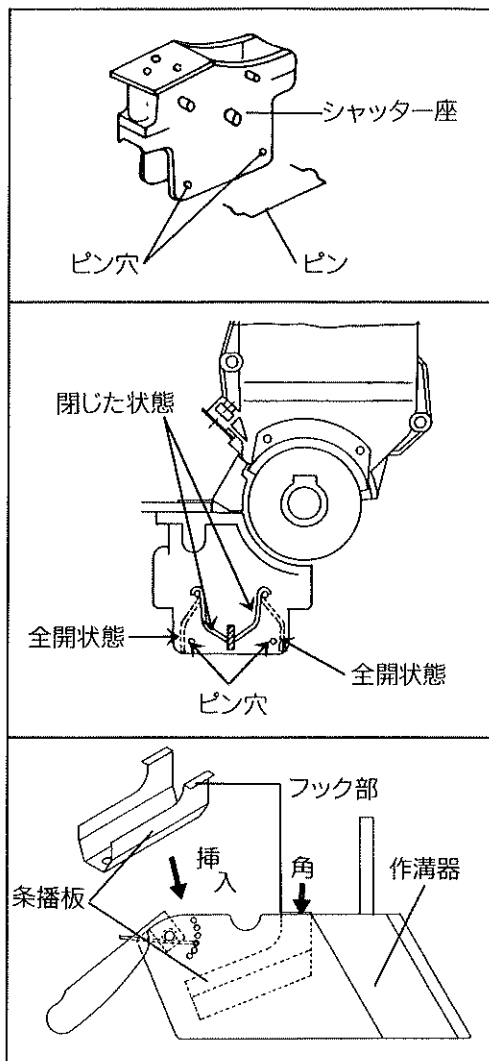


1. 点播から条播への切換

- ① 作溝器を外してください。
- ② シャッター座の右側面(進行方向右側)のピンを抜いてください。
- ③ 両方のシャッターを全開にしてもう一度ピンをシャッターの内側に差し込んでシャッターが閉じないようにしてください。
- ④ 外した作溝器の角にできるだけ近づけて条播板を挿入し、条播板のフック部を作溝器に十分押しつけてから、シャッター座と作溝器の間に条播板が入るように作溝器を取付け固定してください。
- ⑤ ピッチ調節ギヤーを播種間隔表の条播位置に調節してください。(3頁参照)

【注】

- 1) ホーレン草(角種子)は条播板を取付けないで使用してください。



2. 条播から点播への切換

- ① 作溝器を外してください。
- ② シャッター座の右側面(進行方向右側)のピンを抜いてください。(上図参照)
- ③ 両方のシャッターが閉じますのでもう一度ピンを差し込んでください。(上図参照)

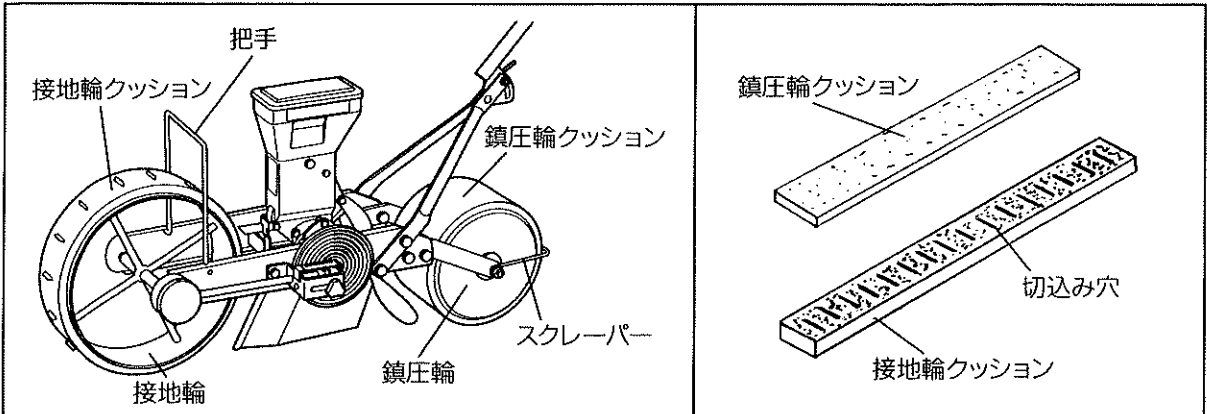
【注】

- 1) シャッターが閉じないときは接地輪(本機前側の車輪)をまわしてください。
- ④ ピッチ調節ギヤーを播種間隔表の15~30cmの希望する位置に調節してください。
- ⑤ 作溝器に取付けた条播板を外して、作溝器を取付け固定してください。

土附着防止用クッション

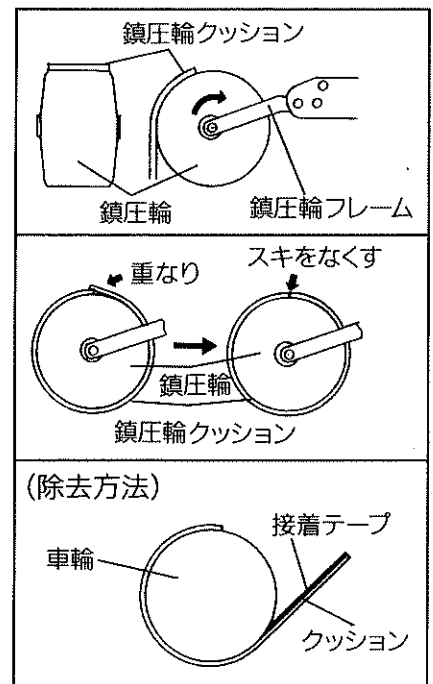
本クッションは鎮圧輪及び接地輪に貼付け、降雨後等の播種時、土が車輪に附着することを防止するために使用しますので、播種前に車輪に貼付けてから播種作業を行ってください。

1. 各部の名称



2. 貼付方法

- ① 各クッションの裏に貼付けている紙をはがしてください。
- ② 鎮圧輪に貼付ける時は鎮圧輪の端にクッションをそわして鎮圧輪を矢印の方向に廻しながら、クッションを軽く押して貼付けてください。
- ③ クッションを貼付けてクッションの端と端は少し重なるので押し込んでスキができないようにしてください。
- ④ 接地輪に貼付ける場合は把手を逆に立て接地輪を浮かせクッションの切込みをラグの中に入れてながら鎮圧輪と同様に行ってください。



3. 除去方法

- ① クッションの貼付面は接着テープなので痛みがひどくなり土の附着防止効果がなくなった時はクッションの端から少しずつはがしてゆき、クッションと接着テープを分かれさすことのないようはがしてください。

4. スクレーパーの取付

- ① 土質により鎮圧輪クッションの土附着防止効果が十分発揮できない時は、スクレーパーを取付けてください。

【注】

- 1) 貼付時強く引張ると破れる恐れがあるので強く引張らないでください。
- 2) クッションの保管は直射日光の当たらない所にしてください。

注 意

1. 濡れた種子はホッパーに入れしないでください。
2. ロール、クッション等の異常摩耗及び播種ムラの原因となるのでホッパー内に種子と農薬等を混ぜて播種しないでください。
3. 毛付にんじん、芽出しほうれん草、等絡み合うものは播種ムラが出ますから使用しないでください。
4. ブラシ、ロール押えクッション等は消耗品です。時々点検し、摩耗していれば新品と交換してください。但し、ブラシは逆取付けすることにより再度使用できます。
5. 種子の繰出が均等に行なわれているか時々点検してください。
6. 繰出口ロールがゴミ等で詰まっていないか時々点検してください。
7. 播種スピードが早過ぎると精度が低下します。適正スピードは0.5m/秒です。特に、レタス、人参等軽い種子はゆっくりと播種してください。
8. 接地輪、鎮圧輪に土が附着するのを防止するクッションを付けています。
 - ① クッションが傷ついて、土が附着するようになったら貼り換えてください。
 - ② 使用後はクッションに附着した土をよく洗い落とし、クッションが変形しないよう鎮圧輪を浮かして保管してください。

別売アタッチメント

1. 広巾播装置(7~12cm巾調節式バラマキ用)
2. 施薬装置(播種同時施薬で省力)
3. マーカー(条間揃え)
4. ティラー取付金具(2条でティラー牽引)
5. フリットルホッパー(麦などの場合使用)
6. 狭巾鎮圧輪(鎮圧巾8cm)
7. 狭巾鎮圧輪クッション(土附着防止用)





本 社 工 場 〒709-0892 岡山県赤磐市下市447
TEL.(086)955-1123(代) FAX.(086)955-5520

東 京 支 店 〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野210
TEL.(048)683-9451(代) FAX.(048)683-9452

長 野 営 業 所 〒389-1104 長野県長野市豊野町浅野582-4
TEL.(026)257-6530(代) FAX.(026)257-6531

徳 島 営 業 所 〒771-1151 徳島県徳島市応神町古川字東197
TEL.(088)641-2311(代) FAX.(088)641-2324

九 州 支 店 〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡1020-1
TEL.(092)921-6006(代) FAX.(092)921-6008

ホームページ <https://www.minoru-sangyo.co.jp>